

令和7年度 第2回 宇美町地域公共交通活性化協議会議事概要

①開催日時：令和7年12月15日（月）14：45～15：20

②開催場所：宇美町役場3階第2委員会室

③出席者：（順不同・敬称略）

[委員]

原田（会長）、山本（株木村タクシー）、中尾（合屋タクシー㈱）、大嶋（九州旅客鉄道㈱）、鶴川（小学校区コミュニティ運営協議会）、江口（自治会長会）、辻（宇美こども子育てネット・う～みん）、小河（民生委員・児童委員）、黒川（町議会議員）、松永（福岡県土整備事務所）、佐田（粕屋警察署）、大井（大分大学・有識者）

[代理出席]

泉田（西日本鉄道株式会社・池田代理）、辻（九州運輸局福岡運輸支局・永松代理）、野本（福岡県交通政策課・三重野代理）

[事務局]

シティプロモーション課 竹下、浦本、村上

1 報告事項

「宇美町地域公共交通計画」の目標達成に向けた施策・事業の取組状況について

（事務局）説明

（会長）宇美町地域公共交通計画は、令和6年度から令和10年度までの5か年間の計画となっており、目標達成に向けた令和7年度中の取組を報告した。ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

（野本）資料1の施策5「交通サービスの一元化」の、粕屋中南部エリアでの連携について補足する。粕屋中南部エリアでの移動特性や交通モードの利用実態を分析して、課題を整理するため、調査研究を実施中で、現在、鉄道やバスなど多数の公共交通の移動実績データを実際に集計中。2月頃に粕屋中南部エリアでの会議を実施する予定。

（泉田）目標1の指標「路線バス利用者数」について、現状値860人がICカード利用、10月7日の数値で990人。令和4年度と比較して利用者は増加している見込み。また、宇美太宰府線、4-1系統のバス路線は昨年の10月1日に宇美駅に乗り入れ、改善基準の部分で減便が発生している。2024年度（2023

年10月から2024年9月)、2025年度(2024年10月から2025年の9月)までの収入と利用者の状況を報告する。

収入は2024年度は1,543万7千円、2025年度は、1,417万6千円で、120万ほど減収。利用者数は、年度で比較すると88.9%で、改善基準で減便したところの利用者減が影響している。

一方で運賃改定を行ったため、減少した人数ほどは収入が落ちていない。

宇美駅に乗り入れを行い、年度合計で5,300人が宇美駅を利用している。

宇美太宰府線4-1は今後も沿線自治体の補助を頂き運行継続するが、過去の交通会議等でも議題となった太宰府市の間の運賃についても少し方向性を報告する。太宰府市の区間は、まほろば号というコミュニティバスが100円で運行しているため、西鉄バスも太宰府の区間は100円で運行しているが、本来もらうべき運賃よりも安いことが減収につながっているという意見があった。太宰府市とも協議を行い、次の春には従来の運賃にする方向で今調整を行っている。少しでも収支改善の効果となればと考えている。

上宇美バス停の上屋の更新について、西鉄バス全体で、上屋の更新は年度内に3基しか実施できない。先ほど見てきたが使えないことはなく、優先順位からすると少し低い。事業者単独での更新は難しく、ローカルの部分を見直すなどのにかしらの施策とセットにすることで優先順位をあげることは可能。過去、八女市ではバス停と交流施設と一緒に設置したこともある。協議をしながらスキームを考えていきたい。

(会長) 他に意見・質問等はないか。

(意見・質問なし)

(会長) それでは、以上をもちまして本日の議事は終了する。長時間にわたる会議、ありがとうございました。